

気象情報を有効に使おう!

〈1〉外出前に気象情報や雷注意報を確認しよう!

屋外活動の前には、天気予報や雷注意報をチェックしましょう。

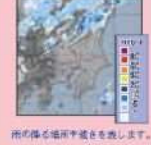
- 雷注意報は雷や竜巻が発生する数時間前から発表します。
- 雷注意報の発表中は渓流・河川敷や中州・親水公園などでの活動は避けましょう。
- 気象状況は、テレビやラジオのほか気象庁ホームページでも確認できます。

注意報・警報のホームページ <http://www.jma.go.jp/wamv/>

〈2〉最新の状況をナウキャストで確認しよう!

屋外で活動する場合は、ナウキャストで、強い雨、雷、竜巻の状況や予報に注意しましょう。

レーダー・降水ナウキャスト



雨の降る場所や強さを表します。

雷ナウキャスト



雷が起きる場所や強さを表します。

高熱雷雨降水ナウキャストで雷の

見通しをさらに詳しく確認できます! スマートフォンにも対応

- 雷注意報4の領域、竜巻発生確度最大領域を避けましょう。
- 40分以内の降水や雷の発生を約200m四方の範囲で表します。(35-60分先まで約1km四方)



電撃発生確率ナウキャスト



電撃などの強い突風が吹くおそれがある場所や強さを表します。

PCナウキャストのホームページ(PC) <http://www.jma.go.jp/pc/midnow/>

PCナウキャストのホームページ(PC、スマートフォン) <http://www.jma.go.jp/jp/boxa/pc/ai/midnow/>

スマートフォンナウキャストのホームページ(PC、スマートフォン) <http://www.jma.go.jp/jp/hp/hwnews/>

〈3〉積乱雲が近づいてきたら建物に避難しよう!

こんな時、発達した積乱雲が近づくと兆します。急な大雨・雷・竜巻の危険があります。

- 真っ黒な雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、電光が見えたりする。
- ヒヤッとしたり冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

運動場など開けた場所や水辺は危険です。すぐに避難しましょう。

急な大雨・雷・竜巻

— ナウキャストの利用と防災 —

積乱雲(入道雲)の下で急な大雨・雷・竜巻が発生し、大きな被害につながります。

積れていても、土壌に降った雨で急に増水することがあります。

落雷の危険が高くなります。

竜巻が発生することがあります。



気象庁

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4
TEL 03-3212-8534(内線)
FAX 03-3669-2917(24時年中受付け)
ホームページアドレス: <http://www.jma.go.jp/>
このリーフレットは、上記ホームページからダウンロードできます。
このリーフレットは、印刷物の縮小サイズで作成します。

平成29年3月



気象庁



音声コード

積乱雲に伴って、このような災害が発生します!

急な大雨による災害

●親水公園の急激な増水



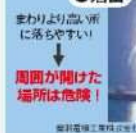
●地下施設への流入



増水と雷に注意が必要
渓流・河川敷・中州・親水公園における釣り・キャンプ・バーベキュー・水遊び など

雷による災害

●落雷



まわりより高い所に落ちやすい

周囲が開けた場所は危険!

●側撃雷



木の幹や枝から雷にうつれることも!

木のそばは危険!

危険な場所や状況は…

雷に注意が必要

ゴルフ・サッカー・野球などの屋外スポーツ公園、海・山におけるレジャー など

被害をイメージして回避しよう!

竜巻による災害

●建物の倒壊



●屋根瓦が飛散



●飛来物の衝突



他にも…

- 電柱・樹木の倒壊
- テント等の飛散 など

強い竜巻では列車や自動車も転覆することもあります。

危険な状況

避けるには…

1 雨が降り始めたり、空や川に異変を感じたら、すぐに水辺から離れる

●上流に降った雨で、急に増水することがあります。

●サイレンの音は、ダム放流の合図です。

危険 × 水かさが増え、濁ったり、枝などが流れてくる時は危険です。

2 浸水した場所に注意

危険 × 大雨のときは地下室や地下下水が流れ込み、危険です。

●浸水した道路では、根柢が見えずマンホールのふたが外れている場合もあり危険です。

●地下を通る道路など低い場所では通行に注意が必要です。

危険!

危険! 車が水につかると、水圧でドアが開かなくなり危険です。

雷から身を守るには…

1 雷鳴が聞こえたらすぐ避難

●雷鳴が遠くでも、雷害はすぐに近づいてきます。

屋外にいる人は安全な場所に避難しましょう。

2 建物の中や自動車へ避難

危険 × 建物や屋根付きの乗り物(自動車など)へ避難しましょう。

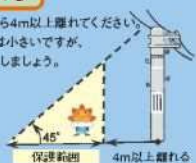
危険 × 雨降りでも木の下に入るのは大変危険です。

3 木や電柱から4m以上離れる

●側撃雷の恐れがあるので、木や電柱から4m以上離れてください。

●右の図の三角の範囲内は比較的危険は小さいですが、なるべく早く屋内の安全な場所に避難しましょう。

●近くに避難する場所が無い場合は、姿勢を低くしましょう。



資料「雷から身を守るには」(日本気象学会編集)から引用

竜巻から身を守るには…

1 頑丈な建物の中へ避難

●避難するときは屋根瓦などの飛来物に注意しましょう。

●避難できない場合は、物陰やくぼみに身をよせましょう。

危険 × 車庫・物置・プレハブ(仮設建築物)への避難は危険です。

2 屋内でも窓や壁から離れる

●家の中心部に近い、窓のない部屋に移動しましょう。

●窓、戸戸を閉め、カーテンを引きましょう。

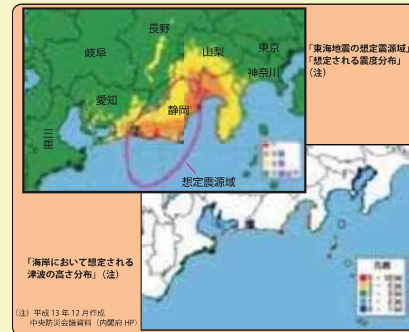
●頑丈な机の下に入り、頭と背を守りましょう。



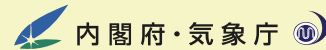
平成23年3月24日から 東海地震に関連する情報が 新しくなりました

- 東海地震に関連する情報は次の3種類です。
 - 『東海地震予知情報』
 - 『東海地震注意情報』
 - 『東海地震に関連する調査情報（臨時・定例）』*
- 各情報の危険度を赤・黄・青の「カラーレベル」で示します。
- 毎月、「東海地震に関連する調査情報（定例）」を公表します。

*「東海地震に関連する調査情報（臨時・定例）」は新しい情報名称です。

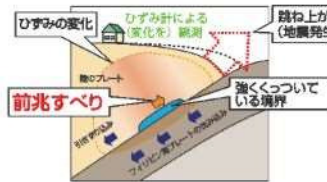


東海地震が発生した場合、地震の揺れや津波などにより、建物全壊約26万棟、死者数約9,200人という甚大な被害が予測されるため、日頃からの十分な備えが必要です。



前兆すべりとは？

東海地震はプレート（地球表面を覆う厚さ数十～百キロメートル程度の岩石の層）とプレートの境界で起こる地震です。プレート境界の一部は普段は強くくっついています。東海地震の前にはこの領域の一部が少しずつすべり始め、最終的に急激に大きくなって強い揺れが発生させ東海地震になると考えられています。この少しずつすべり始める現象が前兆すべりです。



前兆すべりを捉えようと、ひずみ計などの観測測器を東海地域に展開し、気象庁において24時間監視しています。

東海地震への備え

いつ地震が発生してももしっかり対応できるよう、日頃から備えておくことが大切です。

- **自宅等の耐震性を確認しましょう。**
 - 耐震診断を行い、自宅の耐震性を確認しましょう。
 - 耐震性に問題があるとわかった場合は、耐震改修を行いましょう。（詳しくは市町村の建築窓口へ。）
- **家具の固定をしましょう。**
 - 近年の大きな地震により多くの人々が家具の転倒などでケガをされています。家具は必ず固定しましょう。
 - 寝室に重い家具を置かないなど、家具の配置にも気を配りましょう。
- **食料・飲料水の備蓄をしましょう。**
 - 食料品は7日分程度、飲料水は最低3日分は用意しましょう。
- **地域の防災活動に参加しましょう。**
 - 日頃から地域の防災訓練に参加しましょう。
 - いざというときの避難場所や救出救助活動について家族や地域で話し合いましょ。
 - 津波から逃げるための高台までの経路や移動手段について家族や地域で確認しましょう。

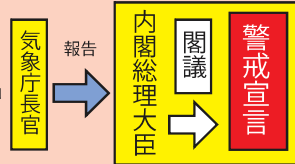
お問い合わせ先
 内閣府（防災担当）地震・火山・大規模水害対策担当室
 〒100-8969 東京都千代田区霞が関1-2-2 TEL.03-5253-2111（代）（内線51408）
 ホームページ <http://www.bousai.go.jp/>
 気象庁 地震火山部 地震予知情報課
 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4 TEL.03-3212-8341（代）（内線4562）
 ホームページ <http://www.jma.go.jp/>

東海地域における地震予知



警戒宣言

内閣総理大臣は、気象庁長官から東海地震の発生のおそれについて報告を受け、閣議を経て、「警戒宣言」を発します。「警戒宣言」が発せられると地震防災応急対策等が実施されます。



地震防災対策強化地域判定会

東海地域の各種観測データを検討するため開催します。毎月開催する定例の判定会と、観測データを随時検討する場合は開催する臨時の判定会があります。（定例の判定会の様子）

情報の発表基準

- | | | |
|---|--|--|
| 「東海地震予知情報」
下記の基準でかつ、「警戒宣言」が発せられた場合
○3カ所以上のひずみ計で有意な変化が観測され、前兆すべりによるものと「判定会」が判断した場合
○5カ所以上のひずみ計で有意な変化が観測され、気象庁で前兆すべりと判断した場合 | 「東海地震注意情報」
○2カ所のひずみ計で有意な変化が観測され、前兆すべりによる可能性が高まったと「判定会」が判断した場合
○3カ所以上のひずみ計で有意な変化が観測された場合 | 「東海地震に関連する調査情報（臨時）」
○1カ所のひずみ計で有意な変化が観測された場合（臨時の「判定会」を開催）
○東海地域周辺でマグニチュード6以上（或いは震度5弱以上）の地震を観測した場合（臨時の「判定会」を開催） |
| 「東海地震に関連する調査情報（定例）」
○毎月定例の「判定会」で調査が行われ、「東海地震」に直ちに結びつくような変化が観測されていないと判断された場合 | | |

気象庁が発表する「東海地震に関連する情報」

情報名	主な防災対応等
東海地震予知情報 東海地震が発生するおそれがあると認められ、「警戒宣言」が発せられた場合に発表される情報 (カラーレベル 赤)	「警戒宣言」 に伴って発表 ●警戒宣言が発せられると ○地震災害警戒本部が設置されます ○津波や崖崩れの危険地域からの住民避難や交通規制の実施、百貨店等の営業中止などの対策が実施されます 住民の方は、テレビ・ラジオ等の情報に注意し、東海地震の発生に十分警戒して、「警戒宣言」および自治体等の防災計画に従って行動して下さい
東海地震注意情報 観測された現象が東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表される情報 (カラーレベル 黄)	東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表 ●東海地震に対処するため、以下のような防災の「準備行動」がとられます ○必要に応じて、児童・生徒の帰宅等の安全確保対策が行われます ○救助部隊、救急部隊、消防部隊、医療関係者等の派遣準備が行われます 住民の方は、テレビ・ラジオ等の情報に注意し、政府や自治体などからの呼びかけや、自治体等の防災計画に従って行動して下さい

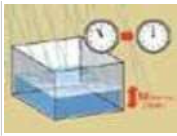
東海地震に関連する調査情報 東海地震に関連する現象について調査が行われた場合に発表される情報 (カラーレベル 青)	観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況を発表 ●防災対応は特ではありません ●国や自治体等では情報収集連絡体制がとられます 住民の方は、テレビ・ラジオ等の最新の情報に注意して、平常通りお過ごしください
臨時	毎月定例の判定会で評価した調査結果を発表 ●防災対応は特ではありません 日頃から、東海地震への備えをしておくことが大切です
定例	

各情報発表後、東海地震発生のおそれがなくなったと判断された場合は、その旨が各情報で発表されます

1時間に50ミリの雨ってどんな雨？



1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨が降るおそれがあります。



「1時間に50ミリの雨」というのは、雨水が別の場所に流れず、そのまま溜まる状態で、「1時間に雨水が50ミリメートルの高さまでたまる」規模の雨です。



「たった50ミリ」と思われるかもしれませんが、1平方メートルあたり50リットルになります。傘をひらいたときの面積が概ね1平方メートルなので、1時間傘をさしていると、傘には牛乳パック50本分の雨が当たることになります。



まわりの雨水があつまると・・・

防災気象情報の正しい理解と適切な利用を

気象庁が発する雨や風についての防災気象情報の中で「激しい雨」「非常に強い風」などと表現される雨や風は実際どのような降り方、吹き方をするのでしょうか。また、それによってどんな被害が想定されるのでしょうか。雨・風の強さに応じた人や建物などへの影響のしかたを示した表によって、雨や風の強さを数値だけでなく具体的なイメージで分かっていたらいいようにしました。これを活用して、防災気象情報をより身近なものにしていきたいと思います。

気象庁 〒100-8122 東京都千代田区大手町 1-3-4 ホームページ: <http://www.jma.go.jp/>
TEL: 03-3212-8341(代表) FAX: 03-6689-2917(耳の不自由な方向け)

このリーフレットは、印刷用の紙へリサイクルできます。

平成 26年 3月



音声コード

雨と風

雨と風の階級表

天気予報でよく聞く、50ミリの雨・30メートルの風って実際のどのくらい？

正解はリーフレットの中で！



雨の強さと降り方

(平成12年6月作成) (平成14年1月一部改正)

1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人の感じるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて	災害発生状況
10~20	やや強い雨	ザーザーと降る。	地面がらの乾かざりでお元がぬれる。	雨の音で話し声が遠く聞かれない。	靴裏一面に水たまりができる。	濡れ濡れ	この雨量の雨でも長く降れば注意が必要。
20~30	強い雨	どしゃ降り。	傘をさしていてもぬれる。		タイヤも濡れ濡れと滑りやすい。	濡れ濡れ	軽微な被害。
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。		濡れ濡れがひどくなる。	高速度走行時、車輪と路面の間に水が溜まり、ブレーキが効かなくなる。(ハイブリッドブレーキシステム搭載車)	濡れ濡れ	山崩れ、土砂崩れが起きやすくなり、道路や橋脚の被害が起きやすくなる。暴風による被害も発生する。
50~80	非常に激しい雨	溝のように降る。ビニール傘が壊れる。	濡れ濡れがひどくなる。	濡れ濡れがひどくなる。	歩道でも水たまり一面が溢れ出す。通行が困難になる。	濡れ濡れ	都市部では地下室や地下道に水が溜まり、被害が起きやすくなる。マシナリや土留めが壊れる。土砂崩れが起きやすくなる。多くの被害が発生する。
80~	猛烈な雨	激しくなる。ビニール傘が壊れる。	濡れ濡れがひどくなる。	濡れ濡れがひどくなる。	歩道でも水たまり一面が溢れ出す。通行が困難になる。	濡れ濡れ	雨による大規模な災害が発生するおそれが高くなる。被害が深刻になる。

(注1) 表はこの強さの雨が1時間継続的に降ると想定した場合の被害を示しています。この表を使用する際は、以下の点にご注意ください。
1. 想定した雨量の降り方であっても、降り始めからの雨量の強弱や、雨の降り始めの時間によって被害の様子は異なることがあります。
2. この表はあくまで目安としており、実際の被害は状況や場所によって異なります。この表はあくまで目安としており、実際の被害は状況や場所によって異なります。
(注2) 「強い雨」「激しい雨」以上の強さの雨と予測される場合は、大雨や激しい雨の被害を想定して注意を呼びかけます。なお、注意喚起の言葉は地域によって異なります。
(注3) 屋内に被害が発生した場合、「屋内の被害発生状況」の被害と見做すことができます。なお、被害の発生は地域によって異なります。

風の強さと吹き方

(平成12年6月作成) (平成14年1月一部改正) (平成19年4月一部改正) (平成25年3月一部改正)

平均風速 (m/s)	風の強さ (予報用語)	風の吹き方	人への影響	建物・屋外の様子	進行中の車	被害物	おおよその瞬間風速 (m/s)
10~15	やや強い風	一般道路の歩行者	風に吹かれて歩きにくくなる。傘が飛ばない。	軽微な被害が認められる。	道路の状況で運転するのには問題ない。	破(と)いが折れ始める。	20
15~20	強い風	一般道路の歩行者	風に吹かれて歩きにくくなる。傘が飛ばない。歩行者が倒れるおそれがある。	軽微な被害が認められる。歩行者が倒れるおそれがある。	道路の状況で運転するのには問題ない。	破(と)いが折れ始める。	30
20~25	激しい風	一般道路の歩行者	歩行者が倒れるおそれがある。歩行者が倒れるおそれがある。	軽微な被害が認められる。歩行者が倒れるおそれがある。	道路の状況で運転するのには問題ない。	破(と)いが折れ始める。	40
25~30	非常に強い風	一般道路の歩行者	歩行者が倒れるおそれがある。歩行者が倒れるおそれがある。	軽微な被害が認められる。歩行者が倒れるおそれがある。	道路の状況で運転するのには問題ない。	破(と)いが折れ始める。	50
30~35	猛烈な風	一般道路の歩行者	歩行者が倒れるおそれがある。歩行者が倒れるおそれがある。	軽微な被害が認められる。歩行者が倒れるおそれがある。	道路の状況で運転するのには問題ない。	破(と)いが折れ始める。	60

(注1) 平均風速は10分間の平均。瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は概算の風向きであり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いです。大気の状態が不安定な場合はさらに強くなる場合があります。
(注2) この表を参考にされる際は、以下の点にご注意ください。
1. 風速が平均風速の数値に比べて強くなる場合があります。その場合は瞬間風速の値と大きく異なる場合があります。
2. 風の吹き方によって、被害の発生状況や被害の程度は大きく異なります。この表はあくまで目安としており、実際の被害は状況や場所によって異なります。
3. 人や物への被害は国土交通省の「瞬間風速と人の倒れる様子との関係」を参考にしています。なお、被害の発生は状況や場所によって異なります。

知ってる?

ちょう しゅう き し しん どう

長周期地震動のこと



とにかく横揺れがひどく、
行ったり来たり、
海の中で揺れている
感じがした。

震度4でも全く違う揺れだった。
ビル全体がすごく揺れて、
気持ち悪くなった。

大きな横揺れが続いて、
すごく怖かった。
ビルが倒れるかと思った。

食器櫃が動いて扉が開き、
食器がいくつか
飛び出した。

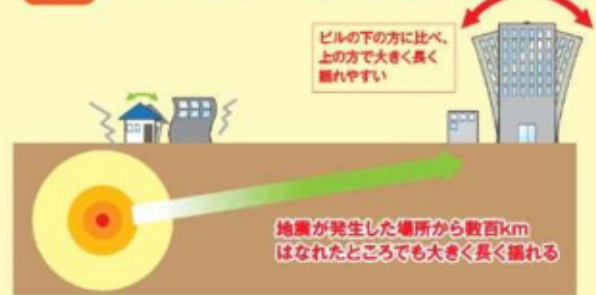


音声コード

長周期地震動ってなに?

大きな地震が発生したときに生じる、周期(1往復するのにかかる時間)が長い揺れのことを長周期地震動といいます。

- 特徴1** 高いビルを、長時間にわたって大きく揺らします。
- 特徴2** 遠くまで伝わりやすい性質があります。



ビルの下の方に比べ、
上の方で大きく長く
揺れやすい

地震が発生した場所から数百km
はなれたところでも大きく長く揺れる

どんなことが起こるの?

- 高いビルでは、長周期地震動による大きな揺れにより、家具類が倒れたり・落ちたり・移動したりします。
- 天井の落下、スプリンクラーの故障、エレベーターの障害などが過去の地震で実際におきています。
- 2011年の東北地方太平洋沖地震のときには、地震の発生場所から遠くはなれた東京でも高いビルが大きく揺れ、被害が発生しました。



2011年東北地方太平洋沖地震のときの
東京市内のビルの室内の様子(工科大学提供)

地震が発生したらどうする?

- 高いビルでは揺れが長時間つづくことがあります。10分以上揺れる場合もあります。
- 長周期地震動による大きな揺れにより、家具類が倒れたり・落ちたりする危険に加え、大きく移動したりする危険があります。
- 地震が発生した場所から遠く離れていても、高いビルでは大きく長く揺れることがあるので油断しないようにしましょう。

家具類や照明機器などが「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見ましょう。



普段からの備えは?

- 事前に対策をすることで、長周期地震動による被害を小さくすることができます。

- 家具類が倒れたり移動したりする場合に備えて、家具類等の固定をしましょう。
- 万が一、倒れたり移動したりしてしまった場合に備えて、家具類の配置に気をつけましょう。



長周期地震動階級って知ってる?

高いビルでの長周期地震動による揺れの大きさは、震度ではわからないため、「長周期地震動階級」という目安で表します。

<h4>階級1</h4> <ul style="list-style-type: none"> ●室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。 ●ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。 	<h4>階級2</h4> <ul style="list-style-type: none"> ●室内で大きな揺れを感じ、物につかまらないうるささを感じる。物につかまらないうるささが強いなど、行動に支障を感じる。 ●キャスター付きの家具類等がわずかに動く。棚にある食器類、書籍の本が落ちることがある。
<h4>階級3</h4> <ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが難しくなる。 ●キャスター付きの家具類等が大きく動き、固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは揺れることがある。 	<h4>階級4</h4> <ul style="list-style-type: none"> ●立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。 ●キャスター付きの家具類等が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、揺れるものもある。

- 地震発生後、気象庁ホームページで「長周期地震動に関する観測情報」をお知らせしています。
- 地域ごとに「長周期地震動階級」がどのくらいだったかを知ることができます。



<http://www.data.jma.go.jp/svd/eww/data/ltpgm/index.html> 長周期 情報

長周期地震動に関するお問い合わせ先

気象庁 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4
 地震火山部 電話: (03)3212-8341 (代表)
 地震津波監視課 FAX: (03)6689-2917 (耳の不自由な方向け)
 ホームページ: <http://www.jma.go.jp/>

先生や保護者の皆さまへ



「理科」や「総合的な学習」等でご活用ください。

発達した積乱雲（雷雲）の下では、「急な大雨」「雷」「竜巻などの激しい突風」が発生します。川や用水路の急な増水、道路の増水、落雷、竜巻などの激しい突風などにより、子どもたちが危険にさらされます。これらによる災害や事故はちょっとした心がけと行動で防ぐことができます。気象情報をごまめに確認するとともに、積乱雲が近づく兆しを感じたら、すぐに危険な場所から離れる、丈夫な建物などにしばらく避難するなど、「自分の身は自分で守る」ことが大切です。これらのことを子どもたちに教えてあげてください。

また、人には、「たぶん大丈夫」「自分は大丈夫」と自分に都合よく考えてしまう傾向があります（「正常化の偏見」といいます）。このような考えを捨てて、安全第一の対応をお願いします。



大丈夫、大丈夫！



安全第一！しばらく避難！

（例）14時から16時に戸外で行動する場合

時刻	チェックすべき気象情報	先生や保護者の対応
前日	天気予報	明日の天気予報やその解読を確認し、積乱雲が発生しやすい気象状況かどうかを把握
当日 朝	天気予報	キーワード「雷を伴う」「大気の状態が不安定」「竜巻などの激しい突風」
	雷注意報	雷と雨の天気予報を確認し、行動時の気象状況をイメージ
昼	天気予報	外出の前に、最新の気象情報を確認し、「雷注意報」の有無を確認
	降水短時間予報 （6分間までの雨を予測した分布図を30分ごとに更新）	戸外では雲の様子に注意し、携帯端末で最新のニュースなどを即時確認
14時	竜巻注意情報 （竜巻の発生、または1分間隔）	高層気象探査 アラウキャスト
	ナウキャスト （降水、風、雹） （雷などの降水の様子や、1分間隔で更新された分布図を5-10分ごとに更新）	雷アラウキャスト 高層気象探査 アラウキャスト
16時		空の様子に注意し、積乱雲が近づく兆しを感じたら、しばらく避難！ 自分の身は自分で守る！

（※）雷注意報は、「激しい雨」「竜巻」への注意を呼びかける場合があります。

気象情報は、気象庁ホームページでご覧いただけます。スマートフォンにも対応しています。

気象庁

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4
ホームページ：http://www.jma.go.jp
電話：03-6219-834（代表）
FAX：03-6659-2911（耳の不自由な方向け）

ナウキャストはこちら

このリーフレットは、印刷物の版権フリーで提供します。平成29年11月

急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！



いつも遊んでいる川が、こんなことに・・・



10分後



急な大雨により川の水が突然増えました。水遊びをしていた子どもも大人も流され、5人が亡くなりました。



音声コード

身近なところに、こんな危険が！



通学路のそばを流れる小川。友達と遊ぶ広場。家族でバーベキューをする川原。ふだんは何でもない場所が、突然の大雨や雷で、命を落とす場所に変わることがあります。たつまきがおそってくることであります。「まさか！」と思うかもしれませんが、このような自然の現象で毎年のように人が亡くなっています。「自分はだいじょうぶ」と油断してはいけません。みなさんの周りにもありますよね、こんな危険。



おだやかな小川が、急に激しい流れに変わります。



地下に水が流れこむと、逃げられなくなります。



雷に打たれる危険があります。たつまきが起きることもあります。



急に川の水が増し、川原に取り残されたり、流されたりします。

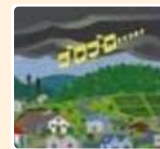
積乱雲には気をつけて！



こんな変化を感じたら、それは積乱雲（入道雲）が近づいてくるしるしです。まもなく、激しい雨と雷がやって来ます。たつまきがおそってくるかもしれません。



真っ黒い雲が近づいてきた



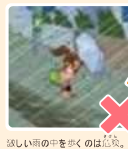
雷の音が聞こえてきた



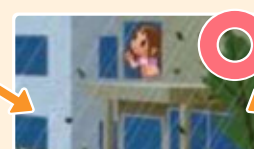
急につめたい風が吹いてきた

すぐに危険な場所からはなれ、安全な場所にひなんしましょう！

まよっている時間はありません。「自分はだいじょうぶ」「恥ずかしい！」という気持ちはすて、すぐに危険な場所からはなれましょう。お父さんやお母さんにも声をかけて！



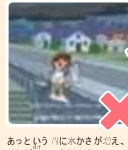
強い雨の中を歩くのは危険。しばらく雨を待て！



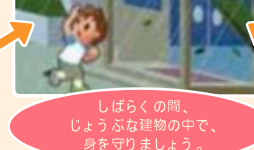
しばらくの間、じょうぶな建物の中で、身を守りましょう。



車が揺れたり、道路でボールが飛びまわったりします。車の中に入らず！



あつという川に水かきがおえ、流れが強くなります。川のそばからはなれて！



木に近づきすぎることがあります。木のそばからはなれて！



たつまきが近づくと、いろいろな物が猛スピードで飛んできます。人や車も飛ばされます。じょうぶな建物へひなんして！